

令和7年度公共事業再評価
各種交付金事業及び県単事業の事業点検項目表

事業主体	新潟県	事業名	高潮対策事業（高潮、波浪、津波等）
事業箇所	佐渡市 河崎地内	施設名	両津港海岸 河崎北地区

1 事業の概要

①事業の目的・効果・必要性等 両津港海岸河崎北地区は両津港の南東側に位置し、背後には集落があり唯一の生活道路である佐渡市道を有している。平成30年度にL1津波高を算定したところ、既設護岸高を超過することが判明した。津波による浸水被害から背後住民の生命・財産を守るため、既設護岸の嵩上げを早急に行う必要がある。	
②事業内容 既設護岸改良L=312.2m	③残事業内容 既設護岸改良L=312.2m
④総事業費 2.1億円	⑦進捗率（事業費ベース） 4.8%（=0.1/2.1）
⑤執行済事業費 0.1億円	⑧費用対効果(B/C)〔基準年 R7年〕 B/C : 6.9 (25.5/3.7) 総便益B : 25.5億円 総費用C : 3.7億円
⑥R7年度以降残事業費 2.0億円	

2 事業点検の視点

⑨事業の進捗状況（遅れがある場合はそれを取り戻す工夫や取り組み状況も併せて記載） 隣接地区（河崎南地区）の海岸護岸工事において仮設として利用中の消波ブロックを当該事業の仮設道路保護に転用し経済的に事業を進める予定であるが、隣接地区の工事は施工期間が限定されることから遅れが生じており、本事業の進捗も遅れている。
⑩社会経済情勢の変化の有無（事業採択時に比較して著しい変化のある事項） 近年、台風や異常気象による災害が多発している状況を踏まえると、L1津波に対する浸水防護に加え、波浪に対する防護の必要性・重要性も高まっている。
⑪コスト縮減、代替案の可能性の有無 比較的風波の穏やかな夏期に集中的に施工することで、事業の遅延を防止し、コスト縮減を図る。
⑫関係機関等の意向、関連事業と調整状況等 地元要望に対し、より要望が強く優先していた隣接地区である河崎南地区と同時並行で、当該地区を進めている。

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

既設護岸の改良により、背後地域への津波の越波を防止できることから、令和11年度の事業完了に向け、整備事業を進捗したい。

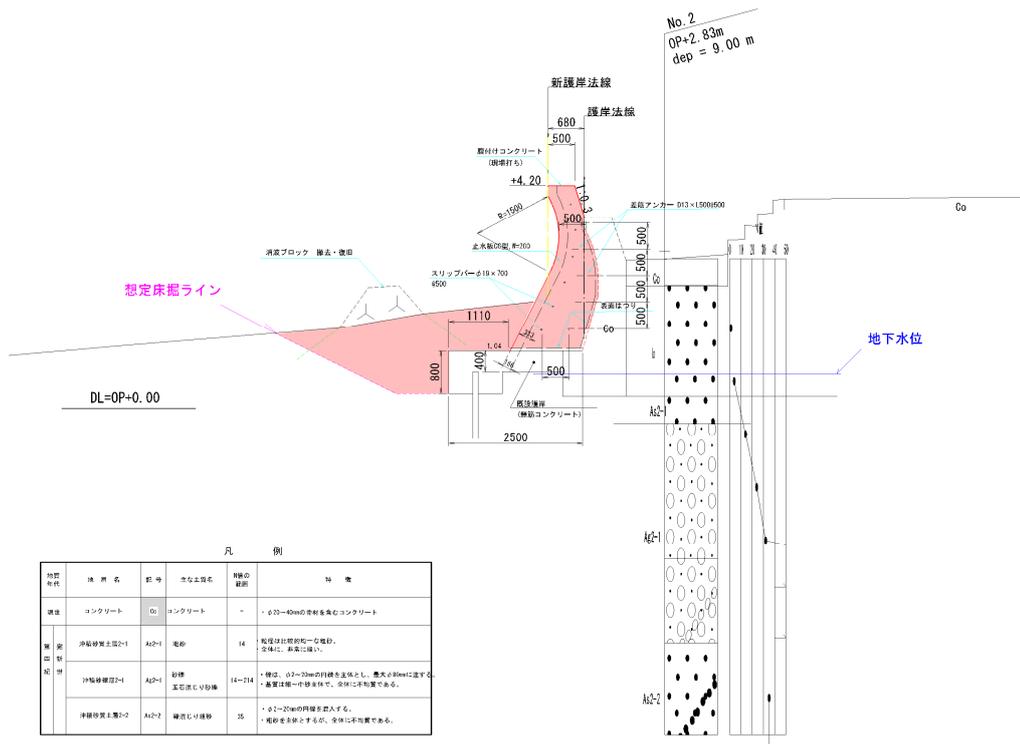
※ ④及び⑧は「当初」又は「直近の見直し時」の数値とする。ただし、⑧については、B/Cによらない事業など、事業の性格により空欄とすることも可。

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費（下水道事業は更新費用も含む）を加え、その金額を現在価値化したもの

4 事業実施経緯

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
事業費 (単位:百万円)	11	2	0	0	0	51	50	50	50
事業内容	実施設計 地質調査 空洞調査	空洞充填				護岸嵩上	護岸嵩上	護岸嵩上	護岸嵩上



令和7年度公共事業再評価
各種交付金事業及び県単事業の事業点検項目表

事業主体	新潟県	事業名	地方創生港整備推進交付金事業
事業箇所	佐渡市小木町地内	施設名	小木港 南地区

1 事業の概要

<p>①事業の目的・効果・必要性等</p> <p>小木港の南地区は、たらい舟体験やモーターボート遊覧などの観光業が行われている他、北地区の岸壁に着岸できないクルーズ船の乗客が小型船に乗り換えて上陸する際にも使用されている。</p> <p>荒天時におけるたらい舟やモーターボートの営業停止や、クルーズ船抜港による不利益を防止するために波除堤（L=100m）の整備を行い、対象地区の静穏度を確保する。</p>	
<p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 波除堤本体工 L= 100m ・ 上部工 L= 100m 	<p>③残事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 波除堤本体工 L= 25m ・ 上部工 L= 100m
<p>④総事業費</p> <p>3.7億円</p>	<p>⑦進捗率（事業費ベース）</p> <p>56.8%（2.1/3.7）</p>
<p>⑤執行済事業費</p> <p>2.1億円</p>	<p>⑧費用対効果（B/C）〔基準年 R7年〕</p> <p>B/C：1.2（4.4/3.8）</p> <p>総便益B：4.4億円</p> <p>総費用C：3.8億円</p>
<p>⑥R7年度以降残事業費</p> <p>1.6億円</p>	

2 事業点検の視点

<p>⑨事業の進捗状況（遅れがある場合はそれを取り戻す工夫や取り組み状況も併せて記載）</p> <p>関係者より観光シーズン及び佐渡汽船運航期間（4月～10月）における現場作業を制限するよう要請があり、実施工は11月～3月の期間しか確保できないことから、当初計画よりも工期を延伸する結果となった。</p>
<p>⑩社会経済情勢の変化の有無（事業採択時に比較して著しい変化のある事項）</p> <p>特になし。</p>
<p>⑪コスト縮減、代替案の可能性の有無</p> <p>掘削発生土を道路事業の改良土として再利用し、コスト縮減を図っている。</p>
<p>⑫関係機関等の意向、関連事業と調整状況等</p> <p>関係者である力屋観光汽船(株)および佐渡市より当該整備への要望があり、事業の早期完成が望まれている。</p>

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

<p>地元からも早期完成を期待されていることから、引き続き事業を継続したい。</p>
--

※ ④及び⑧は「当初」又は「直近の見直し時」の数値とする。ただし、⑧については、B/Cによらない事業など、事業の性格により空欄とすることも可。

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費等の総額

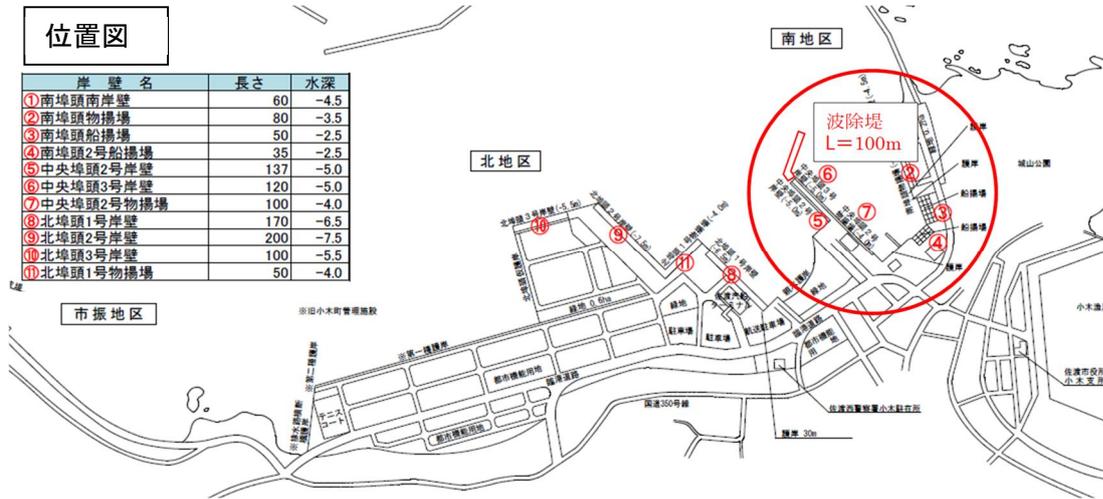
※ 総費用：総事業費に維持管理費（下水道事業は更新費用も含む）を加え、その金額を現在価値化したもの

4 事業実施経緯

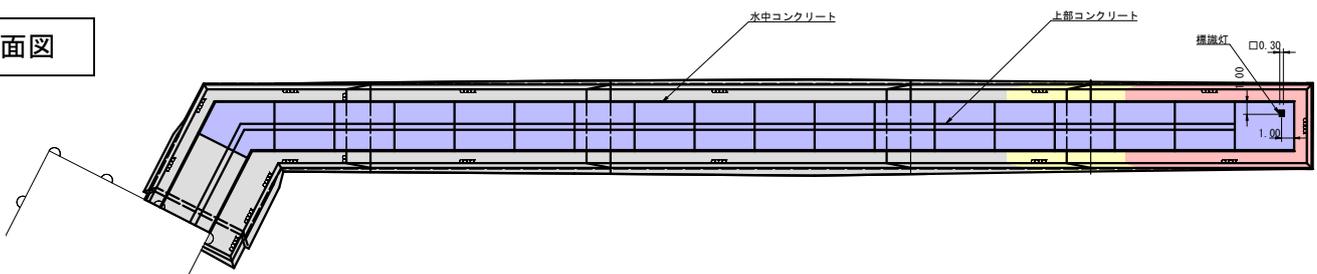
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
事業費 (単位：百万円)	47	93	31	36	36	55	70
事業内容	本体工	本体工	本体工	本体工	本体工	本体工	上部工

ポンチ絵

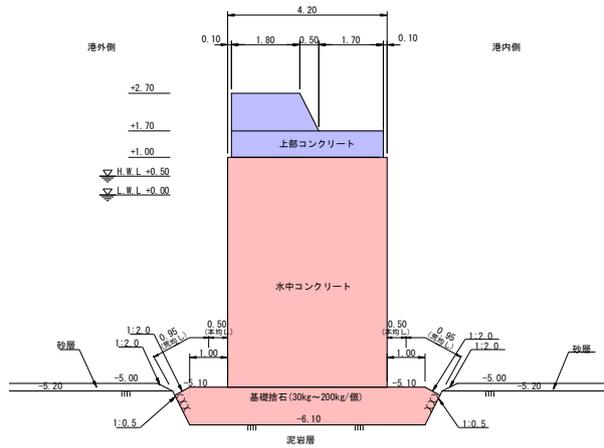
(位置図、平面図、構造一般図等)



平面図



標準断面図(標準部)



標準断面図(取付部)

